



平成 21 年 1 月 5 日

各 位

会 社 名 黒崎播磨株式会社
代表者名 取締役社長 古野 英樹
(コード番号 5352 東証1、福証)
問合せ先 取締役常務執行役員
総務人事部長 江口 宏
(TEL. 093-622-7224)

投資有価証券評価損に関するお知らせ

当社の保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復が困難であると認められるものについて、平成 21 年 3 月期第 3 四半期末において、減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上する必要が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、投資有価証券の減損処理にあたっては、平成 21 年 3 月期の期末日の時価により、計上すべき特別損失の額が変動する場合、もしくは特別損失を計上しない場合があります。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額

	連結	個別
(A) 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の 投資有価証券評価損の総額	5,900 百万円	5,900 百万円
(B) 平成 20 年 3 月期の純資産の額 (A/B×100)	33,245 百万円 (17.7%)	26,306 百万円 (22.4%)
(C) 平成 20 年 3 月期の経常利益額 (A/C×100)	4,796 百万円 (123.0%)	2,455 百万円 (240.3%)
(D) 平成 20 年 3 月期の当期純利益額 (A/D×100)	3,233 百万円 (182.5%)	1,880 百万円 (313.8%)

(ご参考) 当社の第 3 四半期末は 12 月 31 日、決算期末は 3 月 31 日であります。

2. 投資有価証券評価損の主な内容

当社が保有する上場株式（投資有価証券）のうち、ブラジルの大手耐火物メーカーであるマグネジッタ社の株式の時価が、取得簿価の 2 分の 1 を下回りました。そのため、「外貨建取引等会計処理基準」及び「外貨建取引等の会計処理に関する実務指針」に基づき減損処理をいたします。当減損処理は、世界的な金融恐慌による株価低迷によるものであり、マグネジッタ社の経営成績及び経営基盤は、現在のところ何ら問題はありません。

3. 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、本日平成 21 年 1 月 5 日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上